



新川中央第七町内会 創立50周年記念誌発行を祝して

新川中央第七町内会
顧問 山田 進（第7代 会長）

1970年（昭和45年）に、新川中央第七町内会が創立されてから2020年（令和2年）で50年を迎えられました。コロナ禍で1年遅れとなりましたが、ここに創立50周年記念誌を発刊する事に対して、心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

発刊に当たり、ご苦労された坂田康弘会長を始め役員の皆様、そして会員各位に心より敬意と感謝を申し上げます。

また、町内会の今日迄の歴史を築き上げて頂いた歴代の会長を始めとする役員の皆様、そして会員各位に衷心より敬意と感謝を申し上げます。

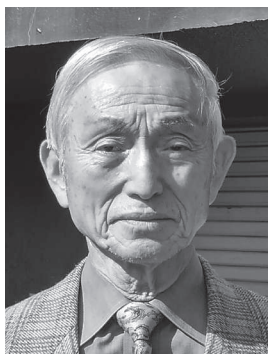
過去の創立記念誌をみますと、平成2年創立20周年記念誌「あゆみ」、平成12年創立30周年記念誌「あゆみ30」、そして平成22年創立40周年記念誌「あゆみ40」が発刊され町内会全戸と関係機関に配布されました。

令和3年創立50周年記念誌が発刊される事は、第七町内会の歴史を繋ぐ意味に於いて有意義であり、非常に嬉しく思います。

私が町内活動に参加させて頂いたのは、昭和58年に町内の会計を仰せつかったのが始まりで、その後、副会長（4年間）・会長（8年間）と平成25年まで30年間役員をつとめさせて頂きました。この間大変だったのは、高齢化が進む中で町内会行事、連合町内会行事のお手伝いの確保でしたが、町内の役員・会員の方々はお願いすると快く引き受けてくださいました。諸行事が無事終了すると、皆様のご協力に対して何時も感謝の気持ちでいっぱいでした。会員相互の絆を実感致しました。

会員相互の繋がり信頼関係が、安全安心の住み良い町内会造りの一翼を担うのではないかと思います。

最後に、新川中央第七町内会の益々の発展と町内の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、創立50周年記念誌発刊のお祝いのご挨拶といたします。



新川中央第七町内会 「あゆみ50」発刊に寄せて

新川中央第七町内会
副会長 佐藤 清美

昭和45年に新川中央第七町内会が創立されてから、令和2年で50周年を迎えることになりました。

私がこの町内会にお世話になったのは、1980年の9月頃だったと記憶しております。思えば町内の菊地さんに役員を手伝ってと言われ、心構えがないまま、第15期の体育部長にはじまり、総務部長、副会長、と、長い間、当町内会の役員としてお付き合いさせていただいております。

ここで、私が感じていることを述べさせていただきます。私はこの新川中央第七町内会では、歴代の会長初めとする役員は、常に他の町内会のリーダー的存在であり、その貢献度は多大であると実感しております。ただし、現在は当町内の役員の成り手が不足していて、若手起用を考え、活力ある町内会にと、願うばかりです。私も体力が続く限り町内に貢献できればと思っている所存です。

まずは発刊に当たっての言葉に代えさせていただきます。





新川中央第七町内会 第4代会長 故渥美久武さんを偲んで

第5代会長
坂田 好男

故 渥美 久武さん

令和2年11月15日、私の町内会長としての先輩（恩師）渥美久武元会長さんが、突然この世を去りました。

思い起こせば、私こと第5代目の町内会長（昭和56年）に選ばれ、渥美会長より引継ぎ、平成13年までの20年間会長を勤められたのも、渥美会長のあたたかいご指導とご協力の賜物と、常に感謝しております。

渥美会長は、新川地区での初の盆踊り大会、初のくちびっこ公園（現ちから公園）の開設、第七の会名に因んだ、毎月7日午後7時からの定例役員会の継続、絶えることなく継続しつつある資源回収、住環境を備えた新川初のバス集会所の建設、10周年夏祭りを契機として始められた他に例を見ない壮大な規模の5年周期の記念祭りの開催等々、数えきれないほどの事業の数々を思い浮かべて、ありし日の渥美さんを偲び、改めて有難うと言わせていただきます。

「業務精励・衆民の模範として黄綬褒章受章をした渥美久武さん。

人格円満、温厚にして協調性に富み、先見性をもって事業経営に当たり、本業である自動車整備事業、及び中古車販売事業に従事、斯業を通じ、業界並びに地域経済発展に尽力された功績」

これは札幌自動車整備振興会から提出された「功績調書」に記された文面である。他面、衆民の模範とされることについては、同業界における評価とともに、地域での自治振興の面における優れた人柄と功績の大きさを見逃すわけにはいかない。我が第七町内会における会長としての業績の他、連町副会長、退任後監査役、更に社会福祉協議会会長、統計調査員協議会副会長、北区防火委員、消防分団部長、地区会館運営委員会監査役、その他多数の公職を歴任した功績は、業界功労に勝るとも劣らぬものとの評価は衆人の認めるところである。このことは、黄綬褒章受章の前年、平成9年には同じく業界功労として運輸大臣表彰を受賞した他、これまでの北海道知事、札幌市長、北区長、運輸局長、交通安全協会会長、総理府統計局長、札幌市街路灯組合連合会長、など数え切れないほどの表彰を受けていることから、地域自治振興の功績の多大さを物語っている。



新川地区と 新川中央第七町内会の歩み

歩み			主な出来事 (敬称略)	
第七町内会		新川地区	札幌市・道内	国内・国外
1875	明治8		琴似に屯田兵入村	
1876	9		山鼻・発寒に屯田兵入村	
1877	10	屯田兵開拓を開始		西南戦争勃発
1881	11		月形(樺戸)集治監開設	
1882	15		札幌～幌内間鉄道開通	
1886	19	新川排水着工(20年竣工)		
1887	20	天狗橋架橋(木造)	新琴似屯田兵入村	
1888	21		赤レンガ道庁舎落成	
1889	22	屯田兵定住開始 (23～24年説あり)		明治憲法制定
1890	23		屯田兵制(条例)改正	
1894	27			日清戦争勃発
1897	30	浦谷商店開業(最初の店)		
1898	31	新川演芸団活動開始	全道に大水害	
1901	34		北海タイムス(現道新) 創業	
1904	37		屯田兵制度廃止	日露戦争始まる
1909	42	新川小学校開設(教育所)		
1911	44		新琴似屯田兵村廃止	
1913	大正2		全道大暴風雪被害	
1914	3			第1次世界大戦
1915	4		全道大水害	
1918	7		開道50年記念博覧会	第1次世界大戦終結
1920	9	十字街前谷商店開業		
1921	10	新川汚染・飲料不適	北大病院開設	
1923	12			関東大震災
1926	15	西牧場35戸、富田商店開業		
1927	昭和2	西牧場一部に電気		金融恐慌始まる
1928	3		中央放送局ラジオ放送 開始	
1930	5	新川青年演芸団活動開始		

歩み			主な出来事 (敬称略)	
第七町内会		新川地区	札幌市・道内	国内・国外
1931	6		冷害凶作	満州事変
1932	7		水害甚大・冷害凶作	上海事変
1933	8	豊作		国際連盟脱退
1935	10		国鉄札沼線全線開通	
1936	11		陸軍大演習・天皇ご来道	2・26事件
1937	12		北海道大博覧会	日中戦争勃発
1939	14			ノモンハン事件・ 第2次世界大戦勃発
1940	15	字名「新川」初登場		
1941	16	新川連町「隣組」結成		太平洋(大東亜)戦争 勃発
1943	18	琴似村が琴似町になる 琴似町「新 川」になる		
1945	20		第1次農地改革	太平洋戦争終結
1946	21			日本国憲法公布
1947	22	GHQによる第2次農地改革		6・3制教育開始
1948	23	部有地電気導入実現	消防団結成	
1950	25	新川十字街界隈電話開通	第1回雪まつり	
1951	26			平和条約・日米安保条約
1953	28			NHKテレビ放送開始
1954	29		青函トンネル起工	
1955	30	琴似町、札幌市に合併		
1956	31	新川皇大神社本殿完成		国際連合加盟
1957	32		HBC開局、テレビ塔完成	5千円札発行
1958	33		北海道大博覧会	1万円札発行
1959	34	2月、雪無し	STV開局	皇太子ご成婚
1960	35	秋山愛生館社宅用地取得	札幌市上下水道着工	
1961	36	新川町内会(12班編成)設立	西牧場部落会解散	ベルリンの壁構築
1962	37		公園町内会創立	
1963	38		一部に電灯線開設	
1964	39	新川幼稚園開園		新潟大地震

歩み			主な出来事 (敬称略)	
第七町内会			札幌市・道内	国内・国外
1965	40	新川中央町内会第9分区分として準独立 分区分長 山田豊氏 大江宅に電話が入る	中央福祉会館落成 新川保育園開園	ベトナム戦争北爆開始
1967	42	首藤商店開業	西札幌町内会創立	
1968	43		新川商店会結成	HTB開局・十勝沖地震
1970	45	新川中央第七町内会設立 初代会長 山田豊氏 町内独自盆踊り開始	新川中央町内会解散 連絡協議会結成	札幌市100万人突破
1971	46	第2代会長 大江政敏氏 就任 山田 豊氏 紫綬褒章受賞 松本 博吉氏 道産業貢献賞受賞	新川条丁目施行	地下鉄南北線開通 (北24条まで) 札幌新道1工区完成
1972	47	新川地区児童公園第一号誕生 (ちから公園)	新川連合町内会結成 新川中央小学校開校 新川乳児保育園開園	区制施行・ 北区役所オープン 初代区長 桂信雄 就任
1973	48	第3代会長 松本博吉氏 就任 町内会旗 山田 豊氏 ハツエ氏 寄贈	新川連絡所開設 消防新川出張所開設	第四次中東戦争で オイルショック
1974	49		市営バス手稲高校まで延長	台風6号 大雨・河川氾濫被害甚大
1975	50	松本会長 連長会長 就任		札幌人口120万人
1976	51	中央地区盆踊り開始 第1回目 当番	新川町内会3分割(新川・東・みどり町 内会誕生) 新川中学校開校 新光 小学校 雇用促進住宅自治会結成	地下鉄東西線開通
1977	52		下水道工事一部開始	有珠山噴火
1978	53	第4代会長 渥美久武氏 就任 バス集会所開設		日本初の静止気象衛星 「ひまわり」(後の「ひまわり 1号」)打ち上げ
1979	54	資源回収を始める	新川高校開校 新川地区社会福祉協議会結成 新川小学校開校70周年	東京都豊島区東池袋に 60階建の超高層ビル 「サンシャイン60」が開館
1980	55	創立10周年記念夏祭り開催 なかよし子ども会結成 北誓団地造成 第1回 餅つき大会開催	「新川郷土史」発行	ソニーがヘッドホン ステレオ「ウォークマン」を 発売
1981	56	第5代会長 葛西時雄氏 就任 葛西会長が就任後間もなく辞任した ため、坂田好男氏 会長代行 就任	連町機関紙「新川」創刊 第4町内会分割・第8町内会誕生 (加盟15町内会)	東京都豊島区東池袋に 60階建の超高層ビル 「サンシャイン60」が開館
1982	57	第5代会長 坂田好男氏 就任		ソニーがヘッドホン ステレオ「ウォークマン」を 発売
1983	58	JR西牧場踏切に信号機設置		札幌市営地下鉄東西線の 白石駅～新さっぽろ駅間 が開業
1984	59		新川地区会館落成 新川交番設置	北海道大冷害
1985	60	創立15周年記念夏祭り開催 松本博吉氏 労働大臣表彰受賞 町内会がコミュニティ実践団体表彰受賞		東京ディズニーランド 開園
1986	61		浅田連長会長自治功労賞受賞	冬季 サラエボオリンピック が開幕 夏季 ロサンゼルス オリンピック開催
1987	62	大林ミサオ氏 清掃美化功労賞受賞	新川西中学校開校	第55代横綱・北の湖が 引退を表明
1988	63		JR新川駅建設 新川百年記念協賛会結成	道路交通法改正、自動車の 一般道路におけるシートベ ルトの着用が原則義務化
1989	平成元	ビッグシップ オープン ゴルフランド オープン	新川開基百年記念式典 新川緑化推進協議会発足	国鉄が分割・民営化され、JRグ ループ7社(北海道・東日本・東海・ 西日本・四国・九州・貨物)が発足
1990	2	創立20周年記念秋祭り開催・記念誌 「あゆみ」発刊 盆踊り当番、UHB生放送	新川中央児童会館開設 百年記念誌「新川百年」発刊	青函トンネル開通 青函連絡船の運航終了
1991	3		新川文化芸能協議会設立 新川文化芸能第1回フェス開催 新川連町創立20周年記念式典	昭和天皇崩御 皇太子明仁 親王が即位 「平成」に改元 消費税スタート 天安門事件
1992	4		新川通り拡幅工事着工	平成天皇即位 ドイツ再統一(東ドイツが 西ドイツに編入)
1993	5		新川中央小学校開校20周年 連町運動会雨天中止(初)	東京都庁が千代田区丸の 内から新宿区西新宿に移 転し、新東京都庁舎開庁
1994	6		連町土木・衛生両部廃止 連町鈴木会長自治功労賞受賞	毛利衛がスペースシャトル 「エンデバー」に搭乗し、 宇宙空間に向けて出発

歩み			主な出来事（敬称略）		
第七町内会			新川地区	札幌市・道内	国内・国外
1995	7	坂田好男会長 連町会長 就任 25周年記念第七町内会館建設記念式典 松本元会長 労働自治大臣表彰受賞 松井明弘交通部長 交通安全功労者として表彰	国際情報高校開校 新琴似・新川地区センター落成祝賀会		1月17日阪神・淡路大震災、近代都市での災害として、日本国内のみならず世界中に衝撃を与えた 地下鉄サリン事件
1996	8		西牧場公園で大防災訓練	豊浜トンネル事故	コンサドーレ札幌が設立
1997	9	第七自主防災組織結成 防災基礎講習会 防災マニュアル作成全戸配布		拓銀破綻、北洋に譲渡	香港がイギリスから返還される
1998	10	坂田会長札幌市自治振興功労章受賞 ふれあい防災マップ作製配布 ちから公園改修工事	新川さくら並木第1期工事 市営バス新川営業所開設		冬季長野オリンピック開幕
1999	11	渥美前会長 黄綬褒章受賞 女性部生涯教育講習会	新川さくら並木第2期工事 新川小学校開校90周年 新川記念会館落成 新川高校全日制20周年・定時制50周年記念式典	マイカル小樽開業	
2000	12	第七自主防災札幌市長表彰受賞 創立30周年記念夏祭り・記念誌「あゆみ30」発刊	さくら並木第3期工事(完工) JR札沼線高架工事完成 さくら並木北海道知事表彰	有珠山が23年ぶりに噴火	三宅島噴火
2001	13	第6代町内会長 伊藤宏一氏 就任	新川さくらフェスティバル音楽祭 新川連町創立30周年祝賀会	札幌ドーム完成	
2002	14		新川中央小学校創立30周年記念式典		冬季・ソルトレイクシティオリンピック開催
2003	15				小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ
2004	16	防災青色回転灯導入	北防犯協会創立10周年式典 中央児童会館15周年アイスキャンドル点灯式 市営バス新川営業所を中央バスに移譲		夏季アテネオリンピック開催、メダル37個 裁判員制度制定 新潟県沖地震
2005	17	連町第35回大運動会 町内会館改築工事(35周年記念事業) 町内会創立35周年記念式典 北区長表彰(福本重子女性部長・古内玲子福祉部長) 第7代町内会長 山田進氏 就任 資源回収で全国表彰受賞	新川中学校開校30周年祝賀会 新川インターチェンジ出口工事完成		宇宙飛行士野口聡一がスペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ
2006	18	介護施設 ら・そしあ 開設			ハンカチ王子ブーム(夏の甲子園を沸かせた早稲田実業の斎藤佑樹の通称)
2007	19	冬期除雪モデル町内会指定			新潟県中越沖地震が発生
2008	20		西牧場公園電波時計設置式 新川さくら並木10周年祝賀会		北京夏季オリンピック開催、メダル25個
2009	21	北海道マラソン給水ボランティア開始	新川開基120周年記念運動会	ゴミ有料化スタート	バラク・オバマが第44代アメリカ合衆国大統領に就任
2010	22	創立40周年記念誌「あゆみ40」発刊			小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
2011	23	坂田好男氏 防犯栄誉金章受賞		札幌駅前通地下歩行空間開通	マグニチュード9.0の東日本大震災発生 死者・行方不明者数は2万人以上
2012	24				東京スカイツリーが開業
2013	25	第8代会長 大山昌亮氏 就任	認知症サポーター養成講座 メガドンキ出店		富士山が世界文化遺産に登録される
2014	26	坂田好男氏 藍綬褒章受賞 ジョイフルズ解体工事について工事業者と会議	新川さくら並木橋(富丘通り)開通記念式典		ソチ冬季五輪開催 金1個、銀4個、銅3個獲得
2015	27	坂田好男氏 北海道知事より防犯協会活動感謝状 敬老交歓会開始	新川中学校開校40周年記念式典 女性の視点を取り入れた避難所運営研修		Windows10の無料アップグレードの提供を開始
2016	28	町内会館屋根葺き替え板金工事		北海道日本ハムファイターズ 日本一	熊本県益城町にて震度7の地震が発生
2017	29				桐生祥秀が100mで日本人初の9秒台「9秒98」を記録
2018	30	伊藤宏一氏より車庫寄贈 物置設置 らくら新川開設	札幌市北消防団新川分団(団長・山田進氏)、消防総合訓練大会総合の部、「優良賞」受賞 台風10号により、幾重水害	9月6日北海道胆振東部地震 厚真町鹿沼で震度7を観測、道内全域でブラックアウトに見舞われる	
2019	令和元	第9代会長 坂田康弘氏 就任 防災マップ全戸配布 トヨタモビリティパーク(元トヨタ部品北海道共販)新川営業所開設 北海道管が「もっかいトラスト」へ分社		ラグビーワールドカップ(札幌ドーム)	5月1日から元号「令和」改元 明治→大正→昭和→平成→令和
2020	2	創立50周年	新川ジモトラライブ開始		中国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルス発生
2021	3	創立50周年記念誌「あゆみ50」発刊		東京2020オリンピックマラソン競歩会場・サッカーラグビー予選会場	東京2020夏季オリンピックパラリンピック開幕(メダル<オリンピック>金27・銀14・銅17><パラリンピック>金13・銀15・銅23)

新川地区と第七町内会のあゆみ

今野 美香

私たちが現在住まう新川地区と第七町内会は、かつてはどのような様子だったのでしょうか。「温故知新（古きを訪ねて新しきを知る）」、これまでのあゆみを振り返ってみたいと思います。なお、本節では『新川百年』と『あゆみ40』、各団体公式ホームページを主たる出典としています。

I 新川地区

※「新川」の名称

新川地区の歴史は、明治の北海道開拓から始まります。開拓時代は、まだ、新川という河川も地域名ありません。あったのは、琴似川。琴似川の銭函までの開削は明治3年（1870）に計画されましたが、それは地図上に一本の線が引かれただけ。実際にその計画が実行に移されたのは、その17年後の明治20年（1887）のことでした。

明治19年（1886）、北海道庁が設置され、原野を農耕可能な土地に改良するために「原野大排水」工事が始まり、当初予定されていた開削コースが、現在の「新川」の場所に改変されました。その翌年（道庁ホームページでは明治20年工事開始であるが、19年とする説もあり）に、琴似川と発寒川の合流点から下流を直接石狩湾に流すための「琴似川小樽内側大排水」工事が行われ、そこで誕生したのが「新川」です。おそらく、「新しい川」がそのまま「新川」という名称になったのでしょうか。なお、琴似川の名称は、現在でも琴似発寒川の合流地点まで残っています。

では、地名としての「新川」はいつ頃から使われ始めたのでしょうか。行政上の最初の名称は、琴似村でした。しかし、通称としては別の呼び方があったようです。明治19年（1886）の琴似屯田給与台帳の土地給与には「旧牧場」という名称を見ることができます。そこに今の新川地域の一部地域（第七町内会も含む）が入ります。しかし、牧場は広く、それが東牧場と西牧場に分かれ、その名称が今でも「西牧場公園」として残っているわけです。

新川地区は長く新川に沿って広がっています。西牧場地区よりも新川下流域地域は「部有地」（屯田兵ではない一般移民の土地の意味）と呼ばれていました。それが、川の名称に合わせて、「西牧場地区」の別名が「新川上」、「部有地」の別名が「新川下」となり、自然と「新川」という地名が根付いたようです。昭和18年（1943）に出された北海道庁告示の改称字名の欄に、地名としての「新川」を見つけることができます。

また、昭和25年（1950）の札幌市営バスの停留所にも「新川」という名称をみることができます。現在は中央バス経営となりましたが、「南新川」という停留所名はそのまま残り、現

